



小暮 博志 議員(政友みらい)
質問方式 一問一答
待機児童の状況について

Q 平成28年度補正予算で保育所運営事業費が計上され、待機児童数の減少に努めていると思うが、計画と状況を伺いたい。

A こども福祉部長

待機児童対策は、まず保育士確保策として、臨時保育士の処遇を改善するため、10月より報酬を改正しました。改正前は報酬が月額で一律8,700円のところを、経験と職責を加味して9,000円から1万円の範囲に増額しました。

また、保育の枠を拡大するため、施設整備として10月より小規模保育事業の実施予定者を募集し、5つの事業者が来年4月の開園に向けて準備に入っています。これら5つの園が開園することにより、ゼロ歳児から2歳児の保育の枠が111人拡充される見込みです。

その他の質問
☆馬門地区農地整備事業について
☆防災無線放送について



田所 良夫 議員(新風)
質問方式 一問一答
全国※山城サミットについて

Q 平成29年秋に全国山城サミットが佐野市で開催することが決定した。より一層の郷土歴史認識を市内外にアピールする良い機会と思うが、歴史紹介を含め、全国山城サミット開催の記念手の発売をはいかがでしょうか。

A 観光スポーツ部長

記念切手の制作については、郵便切手を取り扱う地元佐野郵便局と販売方法や費用負担等について協議を申し入れたいと考えています。また、販路の確保や費用面では課題もあります。が、関係機関と協議を行いながら、情報を集め、記念切手作成の実現に向けて研究検討していきたいと考えています。

その他の質問
☆郷土民話等の位置づけについて

※山城サミットとは・・・
全国山城サミット連絡協議会に加盟する143城の山城を擁する93市町村が情報交換を通して親睦と交流を深め、山城の保存方法や観光資源としての山城を活かした地域の活性化を図り、潤いのある豊かなまちづくりを進めることを目的としています。



川嶋 嘉一 議員(政風会)
質問方式 一括質問 一括答弁
地方創生について

Q 誰よりも地元を愛しているパパたちによる地域創生プロジェクト、いわゆる「佐野パパプロジェクト」の概要、目的、期間、予算等を伺いたい。

A 総合政策部長

「佐野パパプロジェクト」は、地元を愛するパパ世代と言われる方たちが主体となり、行政では気づかない、これから育ちそうな地域の魅力を発見していただき、新たな地域産品等として発掘から開発、育成を行い、売り出していこうという事業です。地域活性化を地域ビジネスの創出と定義し、将来の人口流出の防止と労働人口の流入の基盤づくりを行うことを目的としています。期間は平成28年度から30年度までの3カ年を予定し、28年度の事業費は2,160万円で、そのうち2分の1は地方創生推進交付金を活用します。

その他の質問
☆米山の整備について



▲ 佐野パパプロジェクト